



「The 12th International Symposium on River Sedimentation (ISRS2013)」のご案内

主催：LOC of the 12th International Symposium on River Sedimentation

共催：WASER (World Association for Sedimentation and Erosion Research) 他

後援：UNESCO, IAHR, 京都大学, 京都大学防災研究所, 土木学会, 日本自然災害学会, ダム工学会, 砂防学会, 応用生態工学会, 日本河川協会, 河川財団, 京都府

開催主旨：河川等における土砂堆積および侵食に係る問題の解決を図るため, 研究者が世界各国から一堂に会し, 最新の研究成果を発表し, 意見交換等を行うことを目的とする。

日程：2013年9月2日(月) - 5日(木)

会場：京都テルサ (<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/>)

学会 HP：<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/~ISRS2013/default.html>

参加案内：現在のプログラムはキーノート2件(高橋 保 京都大学名誉教授, Yitian LI 武漢大学教授), 口頭発表203件, ポスター発表71件の合計276件です。

(プログラム詳細) http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/~ISRS2013/TentativeProgram_v2.pdf

論文受付は終了していますが, 一般参加者を現在募集しています。また, 9月3日(火)には, 河川の土砂問題の現状と今後の取り組みについて各国際学協会の代表による公開ワークショップ(下記, 参加無料)を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

参加登録：

一般参加者(有料)：学会 HP から申込みください(オンライン登録受付締切：8月9日)。以降は, 「一般参加希望」と明記して, 所属, 氏名, 連絡先(メール)を isrs2013@uh31.dpri.kyoto-u.ac.jp に送付し, 登録料を当日受付でお支払いください。

WISAのみ参加者(無料)：「WISAのみ参加希望」と明記して, 所属, 氏名, 連絡先(メール)を isrs2013@uh31.dpri.kyoto-u.ac.jp にお送りください。

Workshop on International Sediment Advancements (WISA), 2013年9月3日(火)

09:00-10:00 各国際学協会からの報告

世界土砂会議(WASER), Giampaolo Di Silvio (Universita di Padova, Italy)

国際水圏環境工学会(IAHR), Rollin H. Hotchkiss (Brigham Young University, USA)

国際水文科学会(IAHS), Mike Stone (University of Waterloo, Canada)

日本からの話題提供, Hajime Nakagawa (Kyoto University, Japan)

10:30-10:45 土砂研究に関する国際協力

国際土砂イニシアティブ(ISI, UNESCO), Manfred Spreafico (University of Berne)

10:45-12:30 パネルディスカッション(ダムの影響と土砂管理)

持続可能なダムと投資, Rollin H. Hotchkiss (IAHR)

ダム堆砂と水供給, Mike Stone (IAHS)

大規模洪水とダム堆砂, Hajime Nakagawa (LOC)

貯水池における土砂の分級と土砂管理, Giampaolo Di Silvio (WASER)

ダムによる河川地形に対する影響, Gerrit Basson (ICOLD)